

物価高騰から生活を守る 大幅賃上げ・底上げを！ 職場・地域から声を上げよう！

2025 大阪春闘共闘ニュース No.5

〒530-0034 大阪市北区錦町 2-2 大阪労連気付 TEL:06-6353-6421 2025年2月25日

2・19 春闘学習決起集会を開催しました

学習会は「25 国民春闘勝利に向けて」と題して、zoom で国民春闘共闘の黒澤幸一事務局長がお話され、その後、25 春闘の行動提起、3名からの決意表明がありました。現地・zoom 参加を含め、各組織から 57 名が参加しました。

主催者挨拶 福岡代表委員(大阪労連議長)は、「いよいよ春闘本番を迎える。昨年はみなさんの頑張りの中で大幅賃上げを勝ち取ったにもかかわらず、生活は苦しくなる一方。物価高を上回る賃上げを今年の春闘で何としても勝ち取っていかねばならない。」「この春闘で組合員の立ち上がりをどう作っていくのか、労働組合はどのような構えでやっていくのかということが問われている」「労働者全体の労働条件を改善させ、労働組合の影響力を強めていくために、ストライキを含むたたかいの強化と、対話と学び合いで仲間を増やし、社会を変えていく春闘にしていきたいと思います」と呼びかけました。



「25 国民春闘勝利に向けて」-たたかう労働組合のバージョンアップと対話と学びあい-

学習会 国民春闘共闘の黒澤事務局長にお話しいただきました。



黒澤さんは学習会の中で、「今年の春闘の特徴は、初任給は上がっても中高年は上がらなかったり、正規と非正規の格差が縮まらない、女性労働者の賃金が上がらないところに大きな問題がある。物価が上がっている分、その人たちに相当なしわ寄せがいつているのが今の実態。その改善のためには“すべての労働者の賃上げ”がテーマになる。」「実質賃金の国際比較をみると日本だけが下がり続けているが、2024 年度もマイナス。背景には大企業が大儲けをしているが、労働者には全然分配をしていない。大企業の賃金は春闘で引きあがったと宣伝されているが、結局払った賃金は 0.7%減らされている。」「日本の労働時間はドイツより 1.5 倍長く働いているのに、平均賃金はドイツよりも 2 割も低く、こないびつな状況になっているから人手不足が改善されない。」、またハラスメント根絶、最低賃金の引上げ、労働基本権の回復とストライキについて、などについて話されました。

学習会のおわりに「こちらから要求を持ち込むのではなく、労働者から要求を引き出し、どうやったらその要求を実現できるのか一緒にプランを立てる、そして、実現しようという組合員の気持ちがつくれているかということをもみんなで話をすれば、もっと仲間を増やさなければならないという話になるはず。要求のたたかきに出る前に仲間をつくるということが必要。」「新自由主義に対抗するものは労働組合による民主主義の実践。」「この 25 春闘で何をして、26 春闘・27 春闘のときに私たちはどういう組織・仲間を作っていくのかということに執着できるようなたたかきが必要になってるのではないかと思います。まさに対話と学びあいをいかに広げられるかどうかをこの春闘の最大の視点におかなければいけないのではないかと考えている。」として締めくくりました。



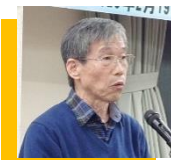


行動提起 嘉満事務局長からはこの間の取り組みの報告、とりわけ 1.29 労働者怒りの総行動、意見書採択に向けた取り組みについて報告されました。また、春闘をめぐる情勢報告のあと、「物価高から生活を守り、生活改善を勝ち取る春闘」に、当事者である労働者・労働組合が声を上げ、「見える・聞こえる・実感できる」たたかいを、単産と地域・公務と民間が一体となって、統一闘争を軸に、職場と地域で展開していきましょうと呼びかけました。当面の主要な行動として、回答指定日の翌日である 3 月 13 日に、ストライキを含む諸行動を配置して回答を引き出しをせまる大阪総行動を春闘最大の行動として位置付けて、職場・地域で取り組みたい、との行動提起がなされました。

決意表明



大教組 山下副委員長 秋季闘争の結果について、若手や非常勤に重点をおいた賃上げが行われたが、中堅層は不満の残る結果に。賃上げや待遇改善をめぐって労働組合の存在意義を發揮して組織拡大につなげていきたい。教員の処遇をめぐる給特法については、審議予定の内容では長時間労働や人員不足を解消することはできない。教員不足などで被害を受けるのは子どもたち。いつまでも担任が決まらなかったり、大教室に2クラス詰め込んで授業をしているというのが各地で行われている。それを改善させるような給特法を目指していきたい。万博遠足については、小中学生に英語で漫才をさせるという、子どもたちをイベントにまで駆り立てようとしている。万博遠足には行かないと決めているところが増えており、子どもの命や安全が万博遠足で保障されるのかという議論をこの春闘でしていこうと呼びかけている。維新政治の中でおこなわれた賃金カットでため込んだ財政調整基金を万博に使うことは許されないという問題とつなげて春闘でしっかりたたかっていきたい。



JMITU 大阪地本 寺島特別行委員 本日、各職場で要求提出が行われ、ワッペン就労に入る職場もある。JMITU が試算した標準的な家族での物価高騰による月あたりの負担額は 3 万 0746 円となっている。くらしのチェックリストや家族の要求アンケートをもとにした統一要求基準は一律 4 万円プラス格差是正、時間給 250 円とする。また企業内最低賃金を月額 22 万 5000 円以上、時間額 1500 円以上、初任給は高卒 22 万 5000 円以上、大卒 26 万円以上、さらに年齢別最低保障賃金、男女の賃金格差の情報開示と格差是正、すべての労働者の均等待遇要求、また奨学金返還支援制度の創設など、5 項目の統一要求を提出している。納得のいかない回答には 3 月に統一ストライキの決行を通告する。第 5 次まで統一行動日を設定し、大幅賃上げがすべての仲間いきわたるまでの取り組みと、全国一律 1500 円最低賃金制を目指す取り組み、さらにケア労働者の支援・激励を強めていきたい。



関西 MIC 出版労連 永石副中央執行委員長 交渉形態についてお話したい。私は教科書会社で教科書共闘というところに所属し、統一交渉をやっている。労働条件資料集というものを作成し、賃金、一時金、諸要求など現状の制度を一覧表にしている。これを見比べて、要求を作成したりしている。それができるのも同業他社の組合がまとまっているから。ライバル関係もあって団結しにくいということもあるが、労働協約を結ぶときには、ひとつの経営だけで制度をやめたり引き下げるといったことは決められず、横の経営に対し説明責任があり、組合としても説明を求めたりするので抵抗力は非常に高くなっている。組合員は集团的指導部に対して交渉権を移譲する関係となり、妥結するかどうかは組合員の判断をおおぐことになる。このような中で交渉をしているからこそ安定した労使関係ができていく。横の連帯を強くしてたたかっている事例として参考になればと思う。



閉会のあいさつ 民間部会副部会長・化学一般の海老原書記長からは、一人ひとりつながっていく大切さと、簡単に納得しないあきらめない粘り強いたたかいはして、25 春闘、その後の一時金交渉、来年再来年につなげていけるように取り組んでいきたい、との決意が語られました。

